

国際ワークショップ

『敦煌写本の諸相』

2019年 11月30日(土) 13:00~17:50

場所:千里山キャンパス 以文館4F セミナースペース

申込不要・聴講無料

講演

13:00~14:30

“Research methods and priorities for Middle Vernacular Sinitic (MVS)”
Victor H Mair (梅維恒) / Professor, the University of Pennsylvania

14:40~16:10

「敦煌殘卷綴合——拼接撕裂的絲路文明」
張涌泉 / 浙江大学 教授

研究発表

16:20~17:50

「敦煌文献に現れる口語語彙語音別整理の方法について」
玄幸子 / 東西学術研究所 研究員、関西大学外国語学部 教授

「敦煌書儀・書簡文の整理と研究展望」
山本孝子 / 東西学術研究所 非常勤研究員、関西大学 非常勤講師

「表音文字は中国語口語スタイルにどの程度影響を及ぼすか？」
高田時雄 / 東西学術研究所 委嘱研究員、京都大学 名誉教授、復旦大学 特聘教授

共催:中国口語語彙の音的分類方法確立のための予備的研究(挑戦的研究(萌芽)・玄幸子);
関西大学アジア・オープン・リサーチセンター

お問い合わせ先

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

TEL:06-6368-0653

FAX:06-6339-7721

E-mail:touzaiken@ml.kandai.jp